

# 専門研修の期間

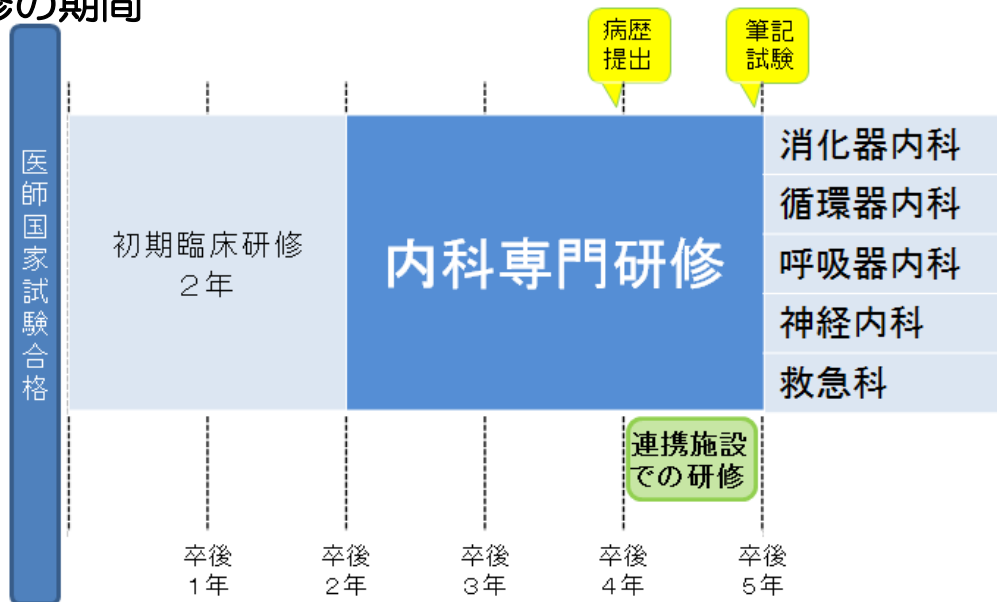


図 1. 岩手県南内科専門研修プログラム (概念図)

## 年次ごとの症例経験到達目標を達成するための具体的な研修の目安

subspecialty 領域に拘泥せず、内科として入院患者を順次主担当医として担当する。

主担当医として、入院から退院(初診・入院~退院・通院)まで可能な範囲で経時的に、診断・治療の流れを通じて、一人一人の患者の全身状態、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践する。

入院患者担当の目安(基幹施設:岩手県立磐井病院での一例)

当該月に以下の主たる病態を示す入院患者を主担当医として退院するまで受持つ。

専攻医 1 人あたりの受持ち患者数は、受持ち患者の重症度などを加味して、担当指導医、subspecialty 上級医の判断で 5~10 名程度を受持つ。感染症、総合内科分野は、適宜、領域横断的に受持つ。

### 専攻医 1 年目

- 4 月 消化器、代謝・内分泌
- 5 月 消化器、代謝・内分泌
- 6 月 消化器、代謝・内分泌
- 7 月 循環器
- 8 月 循環器
- 9 月 循環器
- 10 月 神経
- 11 月 神経
- 12 月 神経
- 1 月 呼吸器、感染症
- 2 月 呼吸器、感染症
- 3 月 呼吸器、感染症

### 専攻医 2 年目

- 消化器、血液・膠原病 or 神経、血液・膠原病
- 消化器、血液・膠原病 or 神経、血液・膠原病
- 消化器、血液・膠原病 or 神経、血液・膠原病
- 消化器、腎臓 or 循環器、腎臓
- 消化器、腎臓 or 循環器、腎臓
- 消化器、腎臓 or 循環器、腎臓
- 救急、アレルギー、感染症
- 救急、アレルギー、感染症
- 消化器
- 循環器
- 神経
- 呼吸器

\* 基本的には専攻医は各診療科をローテーションするが、各内科領域の稀少疾患や未経験症例などを研修センターで把握し、ローテーション中の診療科を超えて専攻医が主担当医として診療できるように調整する。